

# 道路附属物（道路照明灯）点検管理システム

## ～道路施設の点検、評価、管理～

### 目的と効果

道路照明灯は、定期点検等により現状を把握し、異常や損傷を早期に発見、対応の措置を行なうことが重要であります。しかし、その数が膨大であることより、設置後、点検が実施されていないものがあります。このことより、道路照明灯について一斉点検を実施し、損傷判定を行ない、現状の把握と対策方法、対策優先度、対策費を策定、算出することにより、計画的かつ有効的な維持管理を行っていくための資料とします。

- 指定された道路上にある照明灯の外観目視点検、詳細点検を行います。
- 施設点検カルテを作成します。
- 指定された照明灯については板厚調査、路面境界部点検（掘削）を行います。
- 損傷度が大きなものについては、適切な工法を選定し概算補修費の算出をします。

### 作業風景及び点検事例

#### ● 作業風景



#### ● 点検事例



ゆるみ・脱落



腐食

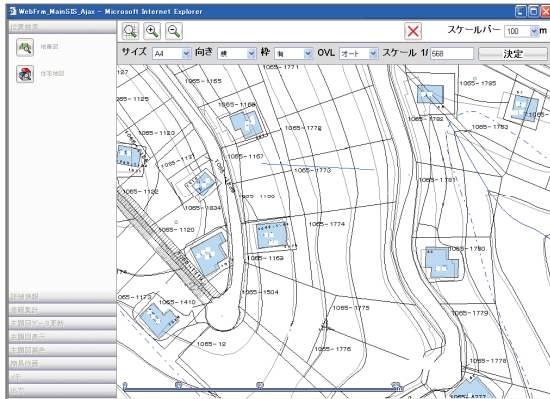


支持部の破断

## システム機能紹介

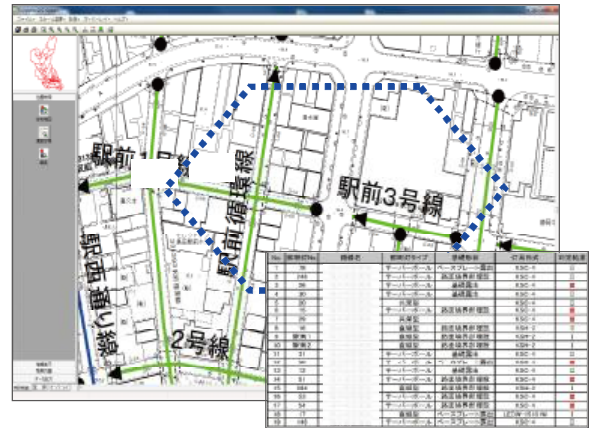
### ● 情報表示(更新・登録)

検索・位置移動により該当する道路照明灯を中心に図面を表示し、情報の表示を行います。詳細な点検結果、補修記録等については、添付ファイルにて保存、閲覧でき、新規登録、情報更新機能も搭載しています。



### ● 情報集計

画面上で任意に囲った範囲の道路照明灯を集計し一覧表を作成します。結果をエクスポートし、自由な集計が可能となります。また、それらを主題図等で表現する事により、見える化を実現します。



### ● 点検記録ファイル閲覧・更新

下表のとおり、箇所ごとの点検記録票を作成し、既存施設の状況や損傷がある施設の対策方法などを策定することにより、維持管理に必要な資料とします。



## 実績

島田市、御前崎市、豊橋市、桑名市